

## 医療的ケア課題検討部会の取組状況について



## 三重県障害者自立支援協議会への報告（医療的ケア課題検討部会）

令和6年2月6日

## 1. 開催状況

日 時：令和6年1月18日（木）15：30－17：00

場 所：ZOOMによるオンライン開催

## 2. 出席委員

三重県重症ケア家族会 SMILE

奥山 絵里 氏

市立四日市病院

岡 香織 氏

独立行政法人国立病院機構三重病院

高村 純子 氏

みえキッズ&amp;ファミリーホームケアクリニック

岩本 彰太郎 氏

三重大学医学部附属病院小児・AYA がんトータルケアセンター

澤田 博文 氏

特定非営利活動法人クローバー クローバーの家

真弓 はるみ 氏

社会福祉法人聖マッテヤ会障害者支援施設 聖マッテヤ心豊苑

村田 達也 氏

三重県市町保健師協議会

大西 郁子 氏

訪問看護ステーションほたるいせ

岡田 まり 氏

三重県立城山特別支援学校

荒田 誠司 氏

障がい者総合相談支援センター そういん

中村 弘樹 氏

特定非営利活動法人なちゅらん なちゅらん四日市

西脇 滋徳 氏

済生会明和病院なでしこ

青木 哲也 氏

## 3. 内容

## (1) 三重県医療的ケア児・者相談支援センター等事業について

## (主な意見等)

- ・相談支援件数の話があったが、相談の内容や課題等について整理が必要と感じている。
- ・短期入所について、緊急の受入のニーズに応えたいが、人的環境が厳しい状況にある。地域包括ケア病棟など、より身近な一般病棟での受入ができればと思うがどうか。
- ・災害に関して、家族会でも考える機会があり、たくさんの課題を感じている。特に個別避難計画が進んでおらず、個人ではなくサービス提供者も含めチームで作成できるよう、進めてもらいたい。
- ・医療的ケア児・者には細やかな支援が必要で、各市町でも検討していけるよう伝えたい。
- ・医療的ケア者が増えており、行き先がない状況。親亡き後の行き先が不安となっている。実態調査や対策を考えていただければ。
- ・児の支援は増えてきているが、卒業後の行き先が不足している。
- ・実現に向けて取り組んでいくため、「相談内容」「者の実数把握」などのカテゴリ別にわけて検討していくと良いのでは。

## (2) 医療的ケア児・者コーディネーター養成研修事業について

### (主な意見等)

- ・カリキュラムの改訂について、労働や移行期など、講師確保も含めどうしたら良いか。
- ・相談支援研修では、県に人材育成部会があり、国の研修もあるが、医療的ケアは国の研修がない。
- ・労働では、子の就職もあれば、親の労働もあると思うが、ナカポツとのつながりもあり、工夫してできると感じている。
- ・養成研修は三重病院が中心になっていただき、皆の協力でやっていければ良い。
- ・受講者として研修に参加したが、学ぶことが多く、必要な研修だと思う。
- ・カリキュラムに新たに示された移行期支援や感染対策、口腔ケアは必要だと感じていた。
- ・国はカリキュラムの内容までは作成しておらず、今回はテーマを示したもの。7月にテキストの発行を目指していると聞いており、テキストが国の研修の代わりになることが期待される。
- ・研修の内容については、オール三重で、本部・支部も含め、考える会があれば良い。
- ・医療的ケア児が309人、研修修了者が210名となっており、育成をどこまでするか、その後のフォローアップをどうするか、考える必要がある。

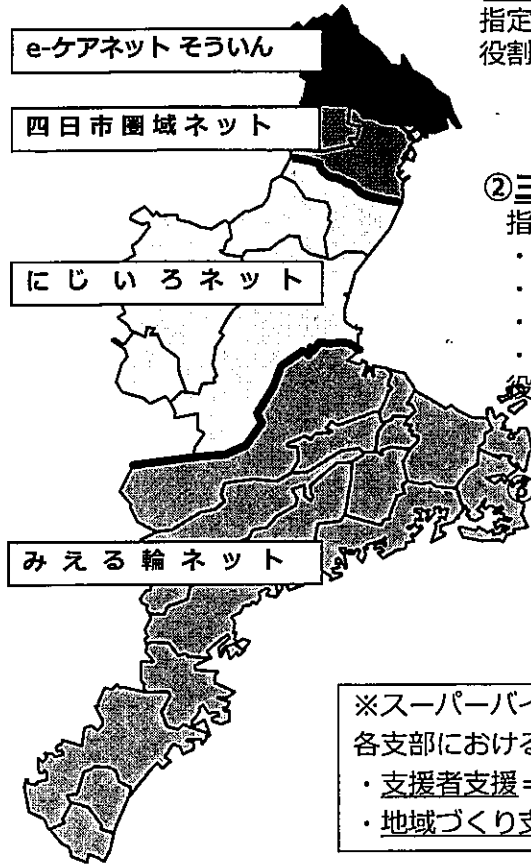
## (3) その他

### (主な意見等)

- ・3市町で在宅レスパイト事業が実施されて良かった。全ての市町でやっていただきたい。
- ・重度訪問介護というサービスがあるが、財源の課題が大きく利用が進んでいない。  
訪問看護版ということで在宅レスパイトが進むと良い。
- ・在宅レスパイト事業について、日数が足りていないかもしれないが、大きな1歩と思う。
- ・南伊勢町では、保育園の成功事例があり、そのおかげもあり在宅レスパイト事業もできたと思う。
- ・特別支援学校への送迎支援について、今は登校時のみだが、下校時も支援してもらえると良い。
- ・現状、送迎支援は登校時だけとなっており、帰りは放デイの送迎の利用が多い。

以上

(4つの地域ネットワーク)



## ① 三重県医療的ケア児・者相談支援センター 本部

指定機関：三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター  
 役割：家族等への相談・情報提供・助言、地域ネットワーク（支部）への側面的支援  
 県内の医療的ケア児・者やその家族のニーズの地域への共有  
 障害福祉サービス等事業者・保育所等・学校等の看護師等への研修

## ② 三重県医療的ケア児・者相談支援センター 支部

指定機関  
 ・そういん支部：障がい者総合相談支援センターそういん  
 ・四日市圏域支部：なちゅらん四日市（レーヴ）  
 ・にじいろ支部：三重病院  
 ・はれる和支部：明和病院なでしこ  
 役割：スーパーバイズ機能（※）、事例検討や地域密着の各種研修（研究会）

## ③ 三重県医療的ケア児・者及び重症心身障がい児・者相談支援センター

※旧重症心身障がい児（者）相談支援事業をリニューアル  
 指定機関：県内5箇所  
 役割：在宅の重症心身障がい児・者とその家族の生活を支援するため、  
 相談に応ずるとともに、療養機関等福祉サービスの提供を行う

### ※スーパーバイズ機能

各支部における多職種チームによる支援者へのスーパーバイズ

- ・支援者支援＝アドバイス機能（支援者に対する助言）
- ・地域づくり支援＝コンサルテーション機能（社会資源の開発等の助言）

# 三重県医療的ケア児・者相談支援センター等事業

## <主な活動状況>

### (1) 相談支援件数（令和4年度）

- ・医療的ケアを必要とするご本人や家族、支援者等からの相談支援  
 【本部】120件 【4支部】1,441件

### (2) 医療的ケア児・者相談支援センターのパンフレット作成

- ・案内用のパンフレットを新たに作成し、関係機関等に配布、周知

### (3) 医療的ケア児・者コーディネーターフォローアップ研修会

- ・コーディネーター養成研修の修了者を対象とした研修会を新たに開催  
 【日時】令和5年5月18日 【参加者】54名

### (4) 医療的ケア児・者の地域ネットワークにおけるスーパーバイズ機能推進研修会

- ・スーパーバイズチームメンバーを対象とした研修会を開催  
 【日時】令和6年1月28日

### (5) 医療的ケア スタートアップ・技術スキルアップ研修会

- ・障害福祉サービス等事業所の看護師等を対象に医療的ケアの技術指導等を4事業所以上実施

### (6) 保育所・幼稚園等及び学校に勤務する看護師と養護教諭のスキルアップ研修会

- ・保育所の看護師等を対象に医療的ケアの技術指導等に関する研修を1回以上実施

三重県医療的ケア児・者相談支援センターとは

医療的ケア児・者の方が住み慣れた町で安心して暮らせるようサポートするため、三重県により設立されました。センター本部には、医師、看護師、医療的ケア児・者コーディネーター、ソーシャルワーカー、公認心理師、チャイルド・ライフ・スペシャリスト、事務スタッフなどを配置し、各支部や関係機関と連携しながら、様々な支援を行っています。



▶ 相談支援

医療的ケア児・者やそのご家族からの相談受付、支援の紹介、情報提供

▶ 家族支援

三重県重症ケア家族会SMILE、三重県重症心身障害児（者）を守る会との連携

▶ 地域づくり

県内の関係機関との連携をベースとした医療的ケア児・者の方が住みやすい地域づくり

▶ 人材育成

人材育成プログラムを通じた、地域における医療的ケア児・者に関わる人材の拡充と強化

▶ 社会資源の把握と情報提供

医療的ケア児・者の方が必要とされる社会資源（支援・施設・サービスなど）の調査や情報提供

医療的ケア児・者の方へのケアやサポートを提供する県内の医療機関、福祉施設、相談窓口を載せる検索サイトも運営しています。



▶ 災害対策支援

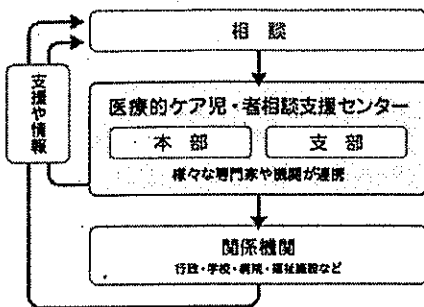
医療的ケア児・者の確保、避難経路・場所など災害対策に関わる助言や支援

万が一の災害時に、医療的ケア児とご家族が自らを守る（自助）ために、三重県小児科医会「小児在宅医療的ケア児 災害対応ノート」を公開しています。



ご相談窓口

まずはお気軽に本部またはお近くの支部に  
お電話でお問合せください。ご相談は無料です。



▶ 本部

三重大学医学部附属病院  
小児・AYAがんトータルケアセンター  
〒514-8507 津市江戸町2丁目174 / TEL:059-231-5788  
受付時間：平日9:00～16:00  
<https://www.ayacare.mie.ac.jp/>



▶ 支部

員名市・いなべ市・本美町・美加町  
そらいん支部 障がい者総合相談支援センターそらいん  
〒511-0061 員名市南町3-11 太平洋ビル2F / TEL:0594-27-7188  
受付時間：8:30～17:00（年末年始〔12月30日～1月3日〕を除く）

四日市市・美加町・朝日町・川崎町  
四日市圏域支部 なちゅらん四日市  
〒510-0948 四日市市小針町3018-271 / TEL:059-329-5262  
受付時間：8:30～17:30（日曜日・年末年始〔12月31日～1月3日〕を除く）

鈴鹿市・亀山市・津市・名張市・伊勢市  
にじいろ支部 独立行政法人国立病院機構 三重病院  
〒514-0126 津市大塚原田町357 / TEL:059-232-2531  
受付時間：平日8:30～17:15

白飯町・多気町・和歌町・大台町・伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・阿伊賀町・熊鷹町・北之町・東野町・御浜町・紀宝町  
はれる和支部 病生会明和病院なでしこ  
〒516-0312 多気郡明和町大字上野495 / TEL:0596-53-0010  
受付時間：平日9:00～16:00



医療的ケアを必要とされている  
ご本人やご家族の様々な不安や悩みに  
寄り添う相談窓口です。

一人ひとりが

隆き、つながり、共感しあえる。

そんな地域づくりをめざして、

いろいろな機関や専門家が連携し、

医療的ケア児・者の方を

サポートしています。

不安や心配ごとはありませんか？  
成長を一緒に支えられるよう支援制度、  
施設やサービスの情報、  
身体や心のケアなどについて  
のご相談をお聴きしています。

主なご相談内容

- 退院後の自宅でのケアのこと
- 訪問診療や訪問看護のこと
- リハビリテーションのこと
- 緊急時の対応のこと
- 成長発達
- 食育のこと
- デイケアや短期入所 / 入院のこと
- 就学・就業
- 保育・学校のこと
- 仕事のこと（家族）
- 助成や支援制度のこと
- ケア児のきょうだいのこと
- 家族同士のつながり
- 心配なこと
- 家族の負担軽減や一時休養（レスパイトケア）

保育所に入園できる？

家族同士が  
つながれる場があれば  
知りたい。

保護者と行政との  
架け橋になってほしい。

この子はどの学校に行くの？  
普通学校への  
入学を希望しても良いの？

学校の支援、  
付き添いの許可範囲、  
訪問授業など、義務教育では  
どこまで対応してもらえるの？

学校と保護者をつなぐ  
相談費がほしい。

成長するにつれ、障がいが顕微化し、  
ケアが増えてきた。  
相談支援が受けられると良いな。

成人移行期の医療や、  
生活介護の  
支援・フォローを  
してくれる所はある？



住み慣れた地域で  
安心して安全に  
過ごせるよう、頼れる  
福祉サービスはあるの？

高校  
卒業後

身体が大きくなってきて、  
ケア内容を必要  
しないといけない。  
どうしよう？

卒業後の子どもの  
居場所が欲しい。

中学・  
高校

放課後デイサービスを  
利用したいけれど、  
どうすれば良い？

小学校

幼稚園・  
保育所

退院後

今、我が子には何が  
必要？療育？訓練？それよりも、  
まずは体調を整えること？  
どんなサービスが使えるの？



一つひとつのご相談に対応します。  
安心してご相談ください。

一つひとつのご相談内容に応じて、医療的ケア児・者相談支援センター本部、または地域の支部が、行政、福祉施設、教育機関などと連携し、適切な支援や情報をおつなぎできるようなサポートします。医療面から社会・心理面など、幅広いご相談に対応しています。また、支援を受けた後も、継続的なフォローアップを受けることができます。

三重県重症ケア家族会SMILEの方から実際に聞かれた声です。

## 医療的ケア児・者コーディネーター養成研修事業

○医療的ケア児・者に係る関連分野の支援を調整する医療的ケア児等コーディネーター（相談支援専門員、訪問看護師等）を養成する。

○平成30年度報酬改定により、研修の修了が相談支援事業所の「要医療児者支援体制加算」の要件になった。

- ・平成30年度以降、三重病院に事業を委託し、研修を実施
- ・令和5年度は5日間の日程で開催（講義はオンライン、演習は対面）
- ・令和5年度の修了者は36名（これまでの累計で210名）
- ・令和8年度までに修了者300名を目標
- ・コーディネーターが所属する相談支援事業所は16事業所増加（43→59事業所）
- ・コーディネーターが所属する事業所一覧を県HPに掲載

5

## 医療的ケア児在宅レスパイト事業

○令和5年度から新たに実施の取組事例（南伊勢町、熊野市、御浜町）

（概要）

- ・市町が訪問看護事業者に業務を委託
- ・訪問看護事業者が利用者に訪問看護サービスを提供
- ・市町が訪問看護事業者に委託料として費用を負担
- ・利用時間や自己負担の有無は、市町によって違いがある
- ・財源の1/2は国の補助金（医療的ケア児等総合支援事業）

○国の令和5年度補正予算において、レスパイト事業に係る補助メニューが拡充

- ・医療的ケア児等を一時的に預かる環境の整備

6